

★日米密約があきらかになった！

―半世紀にわたる政府のウソ―

◆そんなものは存在しないと国民にウソを言い続けてきた日米の密約、実は存在していたことがはっきりした。有識者委員会の報告からわかったことは・

★四つの密約

◆(一)核兵器を積んだアメリカの軍艦が日本に寄港したり、領海内を通過することをOKとする密約↓政府はOKしていないと国民にとウソをつきとおした。証拠となる密約文書は外務省が大部分破り捨てて隠した。

◆(二)朝鮮半島で戦争が起きたら、米軍は日本の米軍基地から自由に出撃することとをOKとする密約↓国民に隠していた証拠・密約文書も見つかった。

◆(三)緊急事態には、米軍は沖縄に核兵器を持ち込むことをOKとする密約↓密約はあったが緊急事態が起きなかったので密約はなかったことにする。

◆(四)沖縄返還のとき本来アメリカが負担すべき費用を日本が負担するという密約↓密約文書に署名したという外交官の証言が出て、密約存在がわかった。

★旧政権の論理

◆日米同盟を守るためには国民にウソをつくこともやむを得なかった。これが旧政権の論理でした。そして、政治情勢が変わっても「実はウソをついていました」と国民に謝ることもしていません。

★民主主義政治に密約は不要

◆マスコミの一部に、国民にウソをつく(密約をむすぶ)ことは、政治の知恵だったと正当化し、ばれてしまった以上、この際核兵器も持ち込めるようにしたらしいというような危険な論調があります。

◆これは旧政権を擁護する論調ですが、これを許すと、またあの忌まわしい戦争の時代を繰り返すことになります。私たちには平和のために密約を許さない意思表示と監視の義務が課せられています。

二〇一〇年四月十一日(日) 第五一八回憲法を守る平和行進

★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

★憲法記念日の集い・講演会のお知らせ 主催 浜松・憲法九条の会

日時 五月三日(憲法記念日) 午後二時開会

場所 浜松市地域情報センター(中区)

講師 長澤 彰(弁護士 自由法曹団改憲阻止対策本部事務局長)

演題 「今、改憲をめぐる状況は？」